



学校報 勇ヶ岡

<今年度の合言葉>

“決める力”

を育てよう

湯沢市立山田小学校 令和2年度 学校報 民生児童委員協議会6月版 R2.6.17 (水) 発行
山田小学校の学習、行事、活躍等に関する情報を、この「勇ヶ岡」を通じてお届けします。

花いっぱいになあれ活動実施

5月28日(木)の1校時に全校で「花いっぱいになあれ活動」を行いました。運動会が延期になったため、今年度初の縦割り活動となりました。事前にくじ引きで決めた花壇の場所に、1年生から6年生までの色別混成班が、赤いペゴニア、黄色いマリーゴールド、青っぽいブルーサルビアの苗を植えました。

活動に先立って行ったまごころ委員会主催の集会で、作業の進め方や役割分担、学年毎に割り当てた水やりの曜日などについて説明がありましたが、それらに沿って各班が協力しながら活動しました。まずはじめに、それぞれの花壇を覆っているシートの上に、6年生が作った設計デザイン図を見ながらみんなで協力して苗を一度置き、配置の具合を確認後、移植ベラで植えていきました。植え終わったらジョーロで水をやり、その後に班ごとに記念撮影をして活動を終了しました。



今後、根が付き、花が大きく咲いたら、是非、ご家庭・地域の方たちにも見に来てほしいと思っています。

「人権の花」植栽

花いっぱいになあれ活動が終わったあとの2校時には、4年生・5年生・6年生で「人権の花」植栽式を行いました。この活動は、法務局が昭和57年から行っているもので、今年で38年目となります。

日頃あまり生きていくということを感じることがない植物を育てることを通して、どんなものにも命があることに気づき、水やりや雑草取りの活動をして世話することで、優しい心・思いやりの心を一人一人の心の



中に育ててほしいという願いのある活動です。

プランターに、赤・白・ピンクのペゴニアを植えて、玄関や玄関近くの植え込みの前に置きました。今後、玄関先が植えた花でいっぱいになっていきます。来校の際はご覧いただければと思います。

植栽式の感想を各学年一人ずつ発表してくれました。その中から、6年生の代表藤原茉優さんのものを掲載します。ちょうど6年生の社会科で学習した基本的な人権と関連付けて発表してくれました。

私は社会の授業で日本国憲法を6年生のみんなで学び、人の権利についてたくさん考えました。

授業の中で自分の権利だけでなく、他の人の権利も大切にすることも学びました。

私は、人権の花を育てていく中で、この花を見て人権についても思い出したいと思います。

6年 藤原 茉優

花いっぱいになあれ活動と「人権の花」植栽式の後には、玄関はたくさんの土の塊が落ちていて汚れてしまいました。それを見て、4年生から6年生の子どもたちが休み時間を返上して自発的に玄関先を箒やブラシで掃除してくれました。真っ黒になってしまった玄関先が本当に綺麗になり、感謝の気持ちで一杯になりました。



地域の方たちの力をお借りして

新緑の季節となり、山田小学校では、地域の方たちの応援をいただきながら、花植作業、学校農園での作付け作業、学校田での田植えを行いました。

5月26日(火)に学校農園のマルチかけ作業を行いました。当日は、例年この作業にご協力いただいている田中博史さんと技師の樋口さん、鈴木さんの3人で作業をしていただきました。各学年で野菜などを植えることができるようにしてあります。去年は、ジャガイモ、サツマイモ、落花生、枝豆、カボチャ、里芋などさまざまな野菜を収穫しました。学年毎に植えるものを決めていますが、今

(裏面につづく)



年はどんな作物ができるのか楽しみです。

同じ5月26日には、1,2年生の鉢植え作業のための土作りに、中屋敷の柴田為英さんや2年生の鈴木愛子さんのお父さんなど4名の方に来校して手伝っていただきました。1年生は生活科の学習のためにアサガオの種植えを、2年生は同じく生活科の学習のために野菜の苗植えを、それぞれ行いました。それぞれの植物が丈夫に育つよう栄養のある土作りをして手伝っていただきました。これからの成長を楽しみに、子どもたちは毎日観察しているところです。



2年生は、5月21日(木)に自分の育ててみたい野菜の苗を湯沢イオンスーパーセンターに歩いて買いに出かけてきました。トマト、ナス、ピーマン、ミニトマトの野菜の苗を植えたりラディッシュの種を蒔きながら、一人一人が自分の植えたものに名前を付けて



ました。写真にあるように、「きみちゃん」「まるおくん」など、名前を呼びながら水をあげている姿を想像するだけで、温かな気持ちになりました。



6月1日(月)には、5年生が学校田の田植えをしました。当日は、例年お世話になっている川原の武石吉廣さんや5年生の高橋光汰さんのお父さん、伊藤理人さんのお母さんなど9名の方たちが田植えの指導に駆け付けてくれました。

なかなか田んぼに素足で入る体験がない子どもたちは、はじめ恐る恐る指導されたように植えていましたが、次第にコツを掴むと手際よく田植え型枠(手植えのために田んぼを転がして植える印を付ける道具)で跡を付けた場所に綺麗に苗を植えていきました。



中には足が抜けなくなったり、転んで尻をどろんこにしたりしながら、14人が力を結集して無事に？終わることができました。田植え定規で印を付けたところを全て時間内に終わることができるか心配していましたが、余裕で作業終了でした。

手植えの後は、残りの部分を武石さんの7条植えの田植機で植えました。子どもたちは代わり番こに乗せてもらい、水無月の爽やかな風が感じられる中で、とてもいい経験を終わることができました。

地域の方たちにたくさんの活動を支援られ、恵まれていることを実感した一連の活動でした。

そういえば、6月を水無月と言いますが、別名の一つに常夏月(とこなづき)があります。これからは、気温がどんどん上がり出します。自分の体調に気を付けていきながら、植えた花や野菜などの体調が崩れないよう(枯れないよう)、しっかりと水やりをしてくれることでしょう。

やまだスタンダード完成

山田小・中学校の生徒指導部とPTA校外指導部、山田地区の子どもたちの健やかな育ちを願って「やまだスタンダード」を完成しました。

9年間の育ちの目標を一覧にしたものです。7月1日付で山田地区全域に、配布します。右半分の「家庭における目指す姿」(太枠で囲んだ部分)をお読みいただき、段階を踏んで学校と家庭・地域が連携した子育てをお願いできればと考えています。

	小学1・2・3・4年	小学5・6年 中学1年	中学2・3年
あいさつ	口調で自分から元気なあいさつをする。	口相手をのぞき、笑顔で挨拶のよいあいさつをする。	口相と声に応じた明るいあいさつをする。
挨拶・学習	口「おはようございます」「ありがとうございます」「お礼します」「いただきます」「失礼します」など、日常的なあいさつをしっかりと覚える。	口挨拶の言葉を大切にし、考えを深める。口挨拶を誰しにも「笑顔」を届けたら嬉しいとする。	口挨拶だけでなく、言葉遣いにも気を配る。口挨拶だけでなく、言葉遣いにも気を配る。
学校における目標	口挨拶の言葉と向き、よい姿勢であったかい態度で挨拶をする。	口挨拶の言葉と向き、よい姿勢であったかい態度で挨拶をする。	口挨拶の言葉と向き、よい姿勢であったかい態度で挨拶をする。
思いやり	口相手の目を向く、よい姿勢であったかい態度で挨拶をする。	口相手の目を向く、よい姿勢であったかい態度で挨拶をする。	口相手の目を向く、よい姿勢であったかい態度で挨拶をする。
生活習慣	口挨拶の言葉と向き、よい姿勢であったかい態度で挨拶をする。	口挨拶の言葉と向き、よい姿勢であったかい態度で挨拶をする。	口挨拶の言葉と向き、よい姿勢であったかい態度で挨拶をする。
家庭における目標	口挨拶の言葉と向き、よい姿勢であったかい態度で挨拶をする。	口挨拶の言葉と向き、よい姿勢であったかい態度で挨拶をする。	口挨拶の言葉と向き、よい姿勢であったかい態度で挨拶をする。
地域における目標	口挨拶の言葉と向き、よい姿勢であったかい態度で挨拶をする。	口挨拶の言葉と向き、よい姿勢であったかい態度で挨拶をする。	口挨拶の言葉と向き、よい姿勢であったかい態度で挨拶をする。



学校報 勇ヶ岡

〈今年度の合言葉〉

“決める力”

を育てよう

湯沢市立山田小学校 令和2年度 学校報 民生児童委員協議会7月版 R2.7.20(月)発行
山田小学校の学習、行事、活躍等に関する情報を、この「勇ヶ岡」を通じてお届けします。

森林環境学習実施

6月23日(火)に5年生を対象にして森林環境学習活動を実施しました。これは山田中学校と隔年交代で行っている学校林を知ることに關する事業です。当日は午前日程で次の7人の方たちに指導していただくことで、様々な体験をすることができました。

雄勝地域振興局 主幹兼班長 高橋公明さん
専門員 高橋信義さん

森の案内人 姉崎吉和さん・半田克二郎さん
雄勝広域森林組合 由利茂範さん・柴田泰範さん
山田愛林会 事務局長 武石 玄さん

開校式の後に行った、丸太輪切り体験では、はじめチェーンソーを使って杉の丸太を切る体験をしました。



チェーンソーを扱うことが初めての子どもたちは、手に響く振動を体全体で感じながら作業しました。はじめはこわごわでしたが、慣れてくるとほとんどの子どもたちが2回目に挑戦していました。その後、今度はのこぎりを使って楠の枝を切る体験もしました。のこぎりは引くことで木が切れるということを実験したようです。輪切りにしたものは、自宅に持ち帰り、コースターとして活用しています。

その後に行った森の案内人の方たちによる自然観察会では、アケビの実が熟すと割れて開いてくるので“開け実”から名前が付いたということなど様々な木の名前の由来、蜘蛛の巣には張り付かない糸の部分があり張り付く部分と蜘蛛は使い分けていること、蝶と蛾が進化の過程で蝶が昼に蛾が夜に活動するようになったわけやそれに伴っての体のつくりの違いなど、たくさんのお話を子どもたちは楽しんでいました。



最後に行った木工工作活動では、ブックスタンド作りで友だちと協力して取り組みました。木工キッドとして杉の木でできた部品を、金槌で釘を打ち付け組み立てていくものです。釘が垂直になるよう慎重に打ち付けますが、ちょっと気を許すと曲がってしまい、再度打ち直すこともありました。出来上がったブックスタンドは、家に持ち帰り、お気に入りの本を立てていることと思います。



本来ならば、葦台と西土沢の学校林に出かけていき、山の中で実際の木を見ながら、枝切りや自然観察などを体験する予定でしたが、今年度は新型コロナの関係でバスの中が密集することから、学校での活動に変更しました。

その代わりに6月19日(金)に、雄勝地域振興局の高橋さんたちと森林組合の柴田さんに連れられて、私と皆川教頭先生で2つの学校林を見てきました。実際に一本一本の木を見たとき、その大きさや高さに圧倒される思い

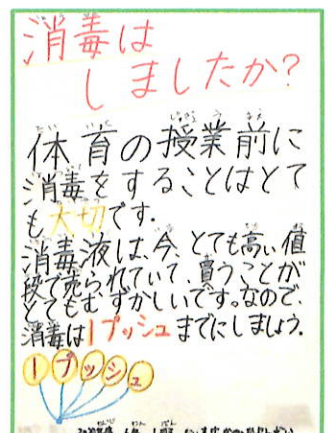
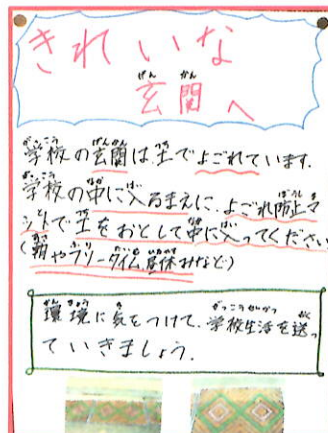


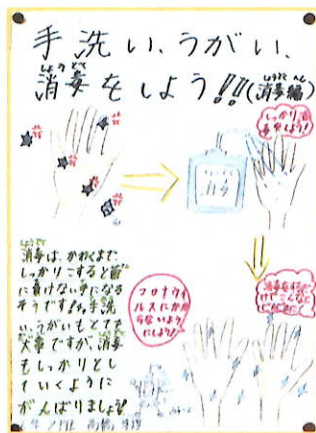
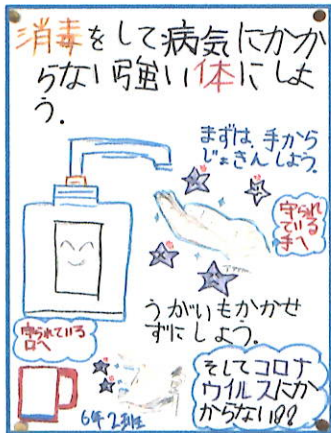
がしました。葦台からは湯沢市内が一望(上の写真)できました。また、西土沢では70年が経ってそろそろ切り出してもよくなった大木を見上げてきました。

6年生生活向上呼び掛け

新型コロナ禍で1学期の行事が2学期に延期になった関係で、6年生がリーダーとして全校を引っ張る場がほとんどなくなり、とても残念に思っていました。このことは、本校に限らず、他校でも同じ悩みになっているようです。が、7月8日に学校のあちこちに次に載せてあるようなポスターが貼られ、その活動に山田小学校の今年の6年生はひと味違うなと頼もしく感じているところです。

聞くところによると、6年生が班ごとに山田小学校の生活を向上させるために、こんな点をもっと頑張っていければと感じていることをポスターにして掲示してくれたとのこと。校内に10箇所近くポスターが貼ってあるようです。どこにどんなポスターが貼ってあるか、探しながら学校を回って喜んでいるところです。





そういえば、6月30日に行った6年生の社会科の指導主事訪問の研究授業でも、授業を自分たちで主体的に動いて学習に取り組んでいた子どもたちです。その姿に逞しさを感じていましたが、生活面でも積極的に自分たちから動いてくれていることに、山田小学校の顔としての今後の活躍を期待しているところです。どんな時でも6年生が躍動していると嬉しいです。

今年初壮行会実施

7月10日(金)に給食を食べたあと、食堂で秋田県学童野球長沼大会地区予選に出場する野球部の壮行会を行いました。昨年度から大会前に全校児童で大会に参加する選手を激励してきましたが、今年度も継続して行っていきます。

今年度最初の壮行会は、昨年度にはなかったことが2つありました。その一つ目は、3人の応援団リーダーがすべて女子だったことです。6年生の藤原菜優さん、



富谷妃由さん、藤原菜央さんたち(写真右から順に)が、エールを送りたいと自主的に申し出てくれました。初めて参加する1年

生に配慮した進め方をしてくれました。二つ目はエールを送ったあとに3人から野球部に激励の言葉を贈ってくれたことです。今年度のコロナ禍の影響で公式大会が次々に中止となる中での初陣に向けて、勇気の出る素敵な言葉でした。本当にありがたい応援でした。そして、今年のような年こそ6年生のリーダーシップに期待したいと感じたひとときでした。

11日(土)12日(日)の野球大会は雨のため、試合のほとんどが1週間延期となりました。11日の第1試合(駒形小対湯沢西小)の勝者である駒形小学校と雄勝野球場で18日(土)に13:00から対戦しました。

いよいよプール授業開始

梅雨に入り雨降りが続いていますが、子どもたちにとって待ちに待ったプール授業がようやく10日(金)から行われています。早く梅雨明けとなり、すっきりし

た青空のもと、泳がせたいものです。

プール授業に際しては、朝のご家庭での検温等健康観察の結果、プールに入って大丈夫である



ことを保護者の方の押印で確認させていただいています。お手数をおかけしますが、プール授業に参加できるかどうかの判断基準となりますので、忘れることなく、よろしくお願いいたします。

今年も図書費寄贈

昨年度、秋田市の中小企業活性化サポート代表の高橋朱実さんから図書購入に使ってほしいと25万円の寄贈の申し出が



あり、上の写真にあるようにたくさんの本を購入させていただきました。図書館に不足していた理数系の本や子どもたちから要望が多かった本を中心に購入し、子どもたちが喜んで読書に取り組んでいます。

その後、高橋さんが学校を訪問される機会があり、子どもたちの読書に取り組む姿勢や様子にいたく感激されて、今年度も20万円寄贈いただきました。

高橋さんは旧雄勝町出身で、副代表をされている方がこの山田地区出身というご縁での寄贈です。山田小学校の図書館がさらに魅力的になるよう、さらに充実した本を揃えることに活用させていただきます。

ちなみに、子ども読書活動支援員の阿部猛先生は、湯沢図書館で使用しなくなった図書の中でまだまだ使えるもの(見た目には新品のもの)を山田小学校図書館にもらってきてくださいました。

様々な方たちが山田小学校の子どもたちを応援してくれています。とてもありがたいことです。

～学校前上下水道工事～

一昨年度から順番に川原方面から中屋敷方面に上下水道工事を進めてきましたが、今年度は山田地区センター前の道路の部分の上下水道の工事を進めています。

朝8時半から夕方5時までの工事となりますので、下校時間が工事と重なります。工事期間は、7月中旬から9月いっぱいとなっています。子どもたちには注意喚起しています。警備員を付けているそうですが、来校の際はお気を付けください。

